

研修カリキュラム表（臨時的代替方法・介護職員初任者研修課程 通学・通信）

事業者名 パルシステム生活協同組合連合会

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙１）				
講義・演習（実習）				
1 職務の理解		6 時間		
	(1) 多様なサービスの理解			
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解			
2 介護における尊厳の保持・自立支援		9 時間		
	(1) 人権と尊厳を支える介護			
	(2) 自立に向けた介護			
3 介護の基本		6 時間		
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携			
	(2) 介護職の職業倫理			
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント			
	(4) 介護職の安全			

実施計画					臨時的代替方法による実施内容				
カリキュラム名・時間数					実施内容				
1 職務の理解		6 時間			1 職務の理解		6 時間		
		通学	通信	合計			通学	通信	合計
	(1) 同左	3	0	3		(1) 講義のみ	3	0	3
	(2) 同左	3	0	3		(2) 講義・演習：視聴覚教材を用い、働く現場についてグループ毎に話し合って発表をします。	3	0	3
2 介護における尊厳の保持・自立支援		9 時間			2 介護における尊厳の保持・自立支援		9 時間		
		通学	通信	合計			通学	通信	合計
	(1) 同左	0	4	4		(1) 通信講習のみ	0	4	4
	(2) 同左	1.5	3.5	5		通信講習／講義・演習：介護予防・残存機能の活用をテーマとした事例について、グループで話し合います。	1.5	3.5	5
3 介護の基本		6 時間			3 介護の基本		6 時間		
		通学	通信	合計			通学	通信	合計
	(1) 同左	1.5	0	1.5		(1) 講義のみ	0	1.5	1.5
	(2) 同左	0	1.5	1.5		(2) 通信講習のみ	0	1.5	1.5
	(3) 同左	1.5	0	1.5		講義・演習：事故予防や感染予防等の事例に基づき、介護に関するリスクについてグループで話し合い発表をします。	1.5	0	1.5
	(4) 同左	0	1.5	1.5		(4) 通信講習のみ	0	1.5	1.5

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		
講義・演習（実習）		
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間
	(1) 介護保険制度	
	(2) 障害福祉制度及びその他制度	
	(3) 医療との連携とリハビリテーション	
5	介護におけるコミュニケーション技術	6 時間
	(1) 介護におけるコミュニケーション	
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6	老化の理解	6 時間
	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	
	(2) 高齢者と健康	
7	認知症の理解	6 時間
	(1) 認知症を取り巻く状況	
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
	(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
	(4) 家族への支援	

実施計画						臨時的代替方法による実施内容						
カリキュラム名・時間数					実施内容							
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間					4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携				9 時間		
		通学	通信	合計						通学	通信	合計
(1)	同左	3	0	3	(1)	通信講習／講義・演習：介護保険制度の理解を深めるため、申請から支給決定迄のフローチャート作成の実技演習をします。				3	0	3
(2)	同左	0	3	3	(2)	通信講習のみ				0	3	3
(3)	同左	0	3	3	(3)	通信講習のみ				0	3	3
5 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間					5 介護におけるコミュニケーション技術	5 介護におけるコミュニケーション技術				6 時間		
		通学	通信	合計						通学	通信	合計
(1)	同左	0	3	3	(1)	通信講習のみ				0	3	3
(2)	同左	3	0	3	(2)	講義・演習：例題を設定し、その例題に基づいてグループでの話し合い発表をします。				3	0	3
6 老化の理解 6 時間					6 老化の理解	6 老化の理解				6 時間		
		通学	通信	合計						通学	通信	合計
(1)	同左	3	0	3	(1)	講義・演習：例題を設定し、その例題に基づいてグループでの話し合い発表をします。				3	0	3
(2)	同左	0	3	3	(2)	通信講習のみ				0	3	3
7 認知症の理解 6 時間					7 認知症の理解	7 認知症の理解				6 時間		
		通学	通信	合計						通学	通信	合計
(1)	同左	0	1.5	1.5	(1)	通信講習のみ				0	1.5	1.5
(2)	同左	0	1.5	1.5	(2)	通信講習のみ				0	1.5	1.5
(3)	同左	1.5	0	1.5	(3)	講義のみ				0	1.5	1.5
(4)	同左	1.5	0	1.5	(4)	講義・演習：認知症の家族事例を聞き、どのような支援ができるか、グループで話し合い発表をします。				1.5	0	1.5

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
8 障害の理解	3 時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	75 時間
ア 基本知識の学習	10～13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50～55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	

実施計画				臨時的代替方法による実施内容			
カリキュラム名・時間数		実施内容					
8 障害の理解	3 時間	8 障害の理解		8 障害の理解		3 時間	
	通学 通信 合計				通学 通信 合計		
(1) 同左	0 0.75 0.75	(1) 通信講習のみ		(1) 通信講習のみ	0 0.75 0.75		
(2) 同左	0 0.75 0.75	(2) 通信講習のみ		(2) 通信講習のみ	0 0.75 0.75		
(3) 同左	1.5 0 1.5	講義・演習：障害者を持つ家族の気持ちや、家族が抱えるストレスについてグループで話し合って発表します。		講義・演習：障害者を持つ家族の気持ちや、家族が抱えるストレスについてグループで話し合って発表します。	1.5 0 1.5		
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	75 時間	9 ところとからだのしくみと生活支援技術		9 ところとからだのしくみと生活支援技術		75 時間	
ア 基本知識の学習	11 時間	ア 基本知識の学習		ア 基本知識の学習		11 時間	
	通学 通信 合計				通学 通信 合計		
(1) 同左	3 0 3	(1) 講義のみ		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題による学習)で実施します。	0 3 3		
(2) 同左	0 4 4	(2) 通信講習のみ		(2) 通信講習のみ	0 4 4		
(3) 同左	0 4 4	(3) 通信講習のみ		(3) 通信講習のみ	0 4 4		
イ 生活支援技術の講義・演習	52 時間	イ 生活支援技術の講義・演習		イ 生活支援技術の講義・演習		52 時間	
	通学 通信 合計				通学 通信 合計		
(4) 同左	3 0 3	(4) 講義のみ		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題による学習)で実施します。	0 3 3		
(5) 同左	0 2 2	(5) 通信講習のみ		(5) 通信講習のみ	0 2 2		
(6) 同左	7.5 0 7.5	講義・演習：更衣・整容等の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、更衣、整容の実技演習します。		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は更衣・整容等の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、更衣、整容の実技演習します。	3.75 3.75 7.5		
(7) 同左	7.5 0 7.5	講義・演習：移動・移乗の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、移動・移乗の実技演習します。		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は移動・移乗の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、移動・移乗の実技演習します。	3.75 3.75 7.5		
(8) 同左	7.5 0 7.5	講義・演習：食事介助方法の基本を学び、利用者を想定し、食事介助の実技演習します。		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は食事介助方法の基本を学び、利用者を想定し、食事介助の実技演習します。	3.75 3.75 7.5		
(9) 同左	7.5 0 7.5	講義・演習：入浴・清潔保持の介助方法の基本を学び、利用者を想定した介助方法を考え実技演習します。		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は講義・演習：入浴・清潔保持の介助方法の基本を学び、利用者を想定した介助方法を考え実技演習し	3.75 3.75 7.5		
(10) 同左	7.5 0 7.5	(10) 講義・演習：排泄介助方法の基本を学び、利用者を想定し、排泄介助の実技演習します。		講義部分を通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は入浴・清潔保持の介助方法の基本を学び、利用者を想定した介助方法を考え実技演習します。	3.75 3.75 7.5		

研修カリキュラム（実施要綱別紙１）					実施計画					臨時的代替方法による実施内容											
講義・演習（実習）					カリキュラム名・時間数				実施内容												
	(11)	睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護			(11)	同左	7.5	0	7.5	(11)	講義・演習：利用者进行想定した安眠の工夫、環境整備の実技演習します。			(11)	講義部分进行通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は利用者进行想定した安眠の工夫、環境整備の実技演習します。			3.75	3.75	7.5	
	(12)	死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護			(12)	同左	0	2	2	(12)	通信講習のみ			(12)	通信教育のみ			0	2	2	
	(実習)※ (50～55時間中12時間以内)				(実習)※ 時間				(実習)※				(実習)※								
	介護実習 ○時間																				
	ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間																				
	在宅サービス提供現場見学 ○時間																				
ウ 生活支援技術演習 10～12時間					ウ 生活支援技術演習 12 時間					ウ 生活支援技術演習					ウ 生活支援技術演習 12 時間						
																		通学 通信 合計			
	(13)	介護過程の基礎的理解			(13)	同左	6	0	6	(13)	講義・実技演習：片麻痺または認知症等の事例から、基本的情報の整理、アセスメント、介護計画をグループで立案し、発表します。			(13)	講義部分进行通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は同左とします。			3	3	6	
	(14)	総合生活支援技術演習			(14)	同左	6	0	6	(14)	講義・実技演習：片麻痺および認知症の2事例を使って、一連の自立に向けた介護過程の展開方法を考え、実技演習します。			(14)	講義部分进行通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題の学習)で、実技演習は同左とします。			3	3	6	
10 振り返り 4 時間					10 振り返り 4 時間					10 振り返り					10 振り返り 4 時間						
																		通学 通信 合計			
	(1)	振り返り			(1)	同左	2	0	2	(1)	講義・演習：研修や実習を通して学んだことを振り返り、習得したことを確認し、各自発表します。			(1)	講義・演習：研修や実習を通して学んだことを振り返り、習得したことを確認し、各自発表します。			2	0	2	
	(2)	就業への備えと研修修了後における継続的な研修			(2)	同左	2	0	2	(2)	講義のみ			(2)	講義部分进行通信形式(テキストの熟読及び担当講師が作成したレポート課題による学習)で実施します。			0	2	2	
追加カリキュラム 時間																					
計 (130 時間)					計 (130 時間)										(130 時間)						

※「9 ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、1 2 時間以内とする。